

令和6年度第8回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和6年10月25日(金) 午後1時30分～午後3時15分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|---------------|---------|
| 教育長 | 泉 山 浩 幸 | 生涯学習部長 | 三 上 正 洋 |
| 職務代理者 | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長 | 岡 田 詔 彦 |
| 委 員 | 加 藤 洋 之 | 合宿の里・スポーツ推進課長 | 徳 竹 貴 之 |
| 委 員 | 山 田 敦 久 | 学校教育アドバイザー | 石 橋 克 敏 |
| 委 員 | 多 田 千 鶴 | | |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

1 教育長挨拶

【各種イベント等について写真などを用いて説明】

- ・9月26日、上川北部教育長会議が音威子府で開催され、おといねっふ美術工芸高校を視察。
- ・教育委員会職員に示したスローガン「目標は手段」。大谷選手が50本塁打50盗塁に到達。自分にとっては目標だったがチームにとっては歯車のひとつ。自分の頑張りはチームにとっての手段。
- ・へき地複式研究大会上川大会が上士別小、中学校で開催。1人1台端末で授業をデジタル化。リアルは対面やアナログ。リアルとデジタルが融合した授業が大切。
- ・朝日でPTA主催のサイバーセキュリティ講演会が開催。デジタルも基盤はアナログ。自分の興味関心、会話やコミュニケーションがあつてこそそのデジタル。
- ・10月に上川北部の教育研究会が開催。ここでもデジタルを使っているが、国語の授業をアナログで行っていた。詩の朗読で、みんなに伝えたい気持ち、伝え合うという授業だった。
- ・士別東高の参観日では、少人数ならではの理科の実験などの授業だった。
- ・上川管内教育長会議が東川町で開催。図書館や元の東川小学校を改築して今は日本語学校で200人ぐらい。研修会では今の人材育成について、若手は今のポジションでいいのかと考える職員が多く、その半分は自分のスキルを高めたいという考えが多いとのことだった。
- ・1週間に1回、道新に入ってくる「まなぶん」という小学生新聞に、南小6年生が書いてくれたサフオークカレーが掲載。
- ・旭川で行われた技術・家庭科の研究会に参加した。小規模校では配置が難しく、今は3校で巡回しながら授業を行っているが、今後、遠隔で授業が行うことも考えられる。
- ・AIRDO 航空教室が上士別中で行われた。本市では初めての取組で、CA、整備員と操縦士が来校。
- ・教育委員会連合会の第2回研修会が旭川で開催。「教育委員会を俯瞰する」とう題で、教育委員会は学校や先生、教頭、校長をある意味、俯瞰して物事を見ていくことが大切であるという内容だった。
- ・そのほか、士別幼稚園のお遊戯会、子ども議会のチャレンジ応援事業、市民スポーツ表彰、南小学習発表会などについて情報提供。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第26号 士別市における令和6年度全国学力・学習状況調査の結果等の分析について、説明を求める。

○石橋アドバイザー

先般、教育委員会議で士別の子どもたちの点数的な部分を見ていただいているが、今年度新たにクロス集計と言って、子供たちの質問紙とテストの点数とを相関させたデータを道教委の方で提示してきている。例年、道教委のデータをそのまま掲載し、士別市としては分析していなかったが、来年度からは道教委が分析をせず、士別市の分析をそのままホームページで案内するという形にしていくため、今年は過渡期であり、道教委の分析より先に市のデータをホームページにアップしてほしいということがあり、例年よりひと月ぐらい前倒しで皆様方にデータを分析したのを見ていただき、市のホームページにアップしたい。

(資料を用いて説明)

○泉山教育長

分量が多いので、来週まで見ていただき、その後、ホームページにアップする予定である。

○泉山教育長

議案第27号「士別市公民館条例の一部を改正する条例」について説明を求める。

○三上部長

今まで旧兼内小学校が兼内地区の公民館となっていたが、廃止統合となる。近年、この地区の人口減少や高齢化により利用しているサークル等の解散により施設の利用がほとんどない状況。分館長のなり手がいない状況で、分館のあり方について令和2年から協議を開始している。上士別公民館の職員が24戸に足を運び意思確認をしたところ、すべてが統合はやむを得ないとの回答だった。兼内分館は上士別公民館へ統合という条例改正を議題として挙げている。

○泉山教育長

この件について、よろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第28号「士別市スキーリフト条例施行規則の一部を改正する規則」について説明を求める。

○徳竹課長

文言整理のほか、それぞれのスキー場に索道技術管理者を置いているが、天候が悪い、風が何メートル以上吹いた場合などリフトを止めなければならないことがあるが、規則に明記されていないため「リフトの運行を休止する」という文言を明文化しようとするもの。

また、第18条に「この規則に定めるものの他必要な事項については委員会が別に定める」を新設する。これは、「リフトの運休＝スキー場を閉鎖」ではないため、リフトを運休してもスキー場をクローズするという規則がないため、これを新設する。もう一つは、日向スキー場は基本的にシーズン中が無休であり年末年始の休暇がないため、1月1日を休みにしようとするもの。この第18条を使って別に定める形でテスト的に行い、利用者の声や従業員の声を聞いて判断できたときに条例上で1月1日を休みにしたいと考えている。

○泉山教育長

これについて意見はあるか。

○加藤委員

スキー場の運営にあたって、職員が正月や日曜日に勤務になると上乗せで手当を出しているのか。

○徳竹課長

期間中、週の勤務時間が決まっており、その週やシフトによっても勤務する曜日が変わることもある。年末年始であっても割増があるということはない。

○泉山教育長

この件について、よろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第29号「令和6年度土別市教育委員会の人事異動」について説明を求める。

○三上部長

令和6年10月15日付で人事異動について、教育委員会職員の異動については、本来、教育委員会会議の中で諮ってからとなるが、今回は急な人事異動だったため、内示が出た時点で皆さんに電話連絡し、説明をさせていただいた。市民文化センター・中央公民館長が本庁に出向、そこに社会教育課長が兼務発令になった。急な人事異動であったため前後したが、議題とさせていただいた。

○泉山教育長

人事異動について、よろしく願いたい。

4 その他

◇文化祭の日程について

三上部長説明

◇当面する今後の日程について

三上部長説明

午後3時15分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

泉山 浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦